

内部評価結果調書（施策評価 4）

施策名	新しいエネルギーの導入と活用
-----	----------------

担当部局	担当部局長の氏名
農林水産環境部	緒方 和之

PLAN

総合計画(前期基本計画)

基本方針	(政策)	II 環境循環都市						
計画項目	(施策)	② 新しいエネルギーの導入と活用						
施策目的	(何を対象に、どのようにすることを目的としているか)	地球温暖化防止対策として、本市では、「京都エコエネルギープロジェクト」によりバイオガス発電等の実証研究を行うとともに、「京丹後エコファミリー」を設立して小型風力発電施設の普及を推進しているが、事業の継続や普及促進には課題がある。 このため、新エネルギー等の導入に向けた検討を行うとともに、普及・活用に向けた啓蒙・啓発活動を行う。						
めざす目標	新エネルギーの導入を促進します	指標名	総合計画策定時 (H17)	前期基本計画 最終実績値	目標			
		風力による発電量	0kwh	H16	0kwh	H21	95,000kwh	H26
		太陽光による発電量	38,851kwh	H16	0kwh	H21	46,424kwh	H26
		バイオガスによる発電量	0Mwh	H16	1,359Mwh	H21	3,663Mwh	H26
※参考 後期基本計画 めざす目標	新エネルギーの導入を促進します	指標名	総合計画策定時 (H17)	後期基本計画 策定時	目標			
		太陽光による発電量	38,851kwh	H16	38,210kwh	H19	46,424kwh	H26
		バイオガスによる発電量	0Mwh	H16	1,285Mwh	H20	3,663Mwh	H26
		公共施設への太陽光発電設備の導入	新規	-	0ヵ所	H20	15ヵ所	H26
公共施設の省エネを推進します	ESCO事業の導入	新規	-	0ヵ所	H20	3ヵ所	H26	

DO

平成21年度実績

施策方針	事務事業	事務事業評価の結果						担当課
		H21決算額 (千円)	内、一般財源 (千円)	目標達成度	効率性	事業内容の方向性	事業規模の方向性	
1 新エネルギー等の導入検討	省エネ・グリーン化推進事業	0	0	×	-	維持	維持	環境
	公共施設に省エネルギー設備を導入する事業が、設計協議に時間を要したこと等より、完了できなかった							
2 新エネルギー等の普及・活用	エコエネルギーセンター管理運営事業	19,886	4,286	▲	○	維持	維持	環境
	施設の適切な管理運営、環境学習・施設見学の受入の実施							
計		19,886	4,286					

CHECK

評価	①施策の達成度 施策目的・めざす目標に向け、施策がどの程度達成されているか	
	理由	バイオガス発電施設(京丹後市エコエネルギーセンター)については、情報発信や環境学習の普及、未利用資源の再資源化を促進する拠点として10月から運用を開始した。公共施設への太陽光発電施設の設置については、21年度に予定していたが、設計協議に時間を要したため22年度から実施する予定である。
評価	②事業構成の有効性 施策目的の実現と、めざす目標の達成のために、平成21年度に実施した事務事業の構成が有効であったか	
	理由	エコエネルギーセンターの管理運営は、新エネルギーの導入、普及に向けて有効であった。

ACTION

改善	今後の施策展開をどうするか
	新エネルギーである風力発電や太陽光発電等の普及啓発を図るため、公共施設等への設置や設置する市民等への支援等を推進するとともに、関係機関との連携を図りエコエネルギーセンター等の既存施設を環境学習のための教材や観光資源として活用していく。 温室効果ガスの排出量削減には再生可能な新エネルギーの普及と併せて省エネルギーを推進することが重要であるため、市公共施設の省エネ化を進めるとともに、市民等への普及啓発を図る。

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
9-1

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	04	01	07	18	01
細事業名		省エネ・グリーン化推進事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	環境バイオマス推進課
担当課長の氏名	後藤正明
担当者の氏名	松田吉正

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) II 環境循環都市 計画項目 (施策) ② 新しいエネルギーの導入と活用 施策方針 1 新エネルギー等の導入検討
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 公共施設に太陽光発電などの設備を設置し、地球温暖化対策を推進する。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 公共施設への設備導入数(太陽光発電設備 10kW相当) 3施設

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 京都府の補助制度を活用し、公共施設を対象に、省エネルギー・新エネルギー設備を導入することとしていたが、設計協議等に時日を要したことなどにより、事業を完了できなかった。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	15	0	国庫支出金		
			府支出金	省エネ・グリーン化推進地	0
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		0
事業費合計		0	合計		0

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">設計協議等に時日を要したことなどにより、年度内の完了ができなかった。</td> </tr> <tr> <td>× 少しい遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	設計協議等に時日を要したことなどにより、年度内の完了ができなかった。	× 少しい遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	設計協議等に時日を要したことなどにより、年度内の完了ができなかった。			
× 少しい遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由		▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由				
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	段階的に公共施設に太陽光発電設備等を導入する。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	京都府の制度を活用し、事業を実施する。
A 事業拡大			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
9-2

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	04	01	07	14	01
細事業名		エコエネルギーセンター管理運営事業				

担当部署	農林水産環境部
担当課等	環境バイオマス推進課
担当課長の氏名	後藤正明
担当者の氏名	田中英樹

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) II 環境循環都市 計画項目 (施策) ② 新しいエネルギーの導入と活用 施策方針 2 新エネルギー等の普及・活用
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 京丹後市における循環型社会の形成を図るため、エコエネルギーに関する情報発信及び資源の利活用等環境に関する学習の普及並びに有機系未利用資源の再資源化を促進する拠点としての京丹後市エコエネルギーセンターを管理運営する。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果を目指すか。できるだけ指標と数値で記入) 環境保全型農業の推進 H24年度末にメタン発酵消化液の液肥としての全量利用 生ごみの資源化推進 環境学習・情報発信

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 施設の適切な運転管理のため、機械設備の改修工事を実施 指定管理者による指定管理業務の遂行(環境学習・施設見学の受入) 行政視察、まちづくり出前講座の実施
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 環境学習および情報発信の推進

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	名称 金額(千円)
事業費合計	12	83	国庫支出金	
	15	19,803	府支出金	未来づくり交付金 3,400
			起債	未来づくり資金 12,200
			分担金・負担金	
			その他	
事業費合計		19,886	一般財源	4,286
			合計	19,886

CHECK	
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか 理由 NEDO技術開発機構からの施設譲渡が遅れたこと等により液肥利用が進まなかった。
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか 理由 コスト削減に留意しつつ、必要な機械設備改修を行った。

ACTION	
改善	事業内容の方向性 A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了 理由 機械設備の計画的、効率的な改修工事の実施。
	事業規模の方向性 B 現状維持 C 事業縮小 理由 機械設備の計画的、効率的な改修工事の実施。

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	
事 業 名	14 IJICレギ`-セタ-管理運営事業			決算書
細 事 業 名	01 IJICレギ`-セタ-管理運営事業			P.192
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	
19,886千円	20,107千円	221千円	98.9 %	

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

京丹後市における循環型社会の形成を図るため、エコエネルギーに関する情報発信及び資源の利活用等環境に関する学習の普及並びに有機系未利用資源の再資源化を促進する拠点としての京丹後市エコエネルギーセンターを管理運営した。

- 火災保険料 83千円
  
- 工事請負費（各設備改修工事・機器オーバーホール） 19,803千円
  - ・ 原水槽攪拌機改修工事 2台 945千円
  - ・ 中央監視設備監視パソコン改修工事 1台 840千円
  - ・ 消化液循環ポンプ駆動部改修工事 1台 1,131千円
  - ・ 排水処理システム改修工事 5,411千円
  - ・ 排水処理施設放流ポンプ改修工事 2台 115千円
  - ・ 排水処理施設第二脱窒槽攪拌機改修工事 1台 673千円
  - ・ ガスエンジン発電装置改修工事 2台 9,030千円
  - ・ ガス供給ブロワ改修工事 3台 1,199千円
  - ・ 排水処理施設メインブロワ改修工事 1台 459千円
- 見学者等の状況（H21.10.8～H22.3.31）
  - ・ 見学者数 23件、280 人
  - ・ 原料受入量 3,840 t
  - ・ 発電量 629,340 kwh
  - ・ 固形肥料利用量 475 t
  - ・ 液肥利用量 2 t

**【事務事業評価】**

施設の適切な管理運営のため、コスト削減に留意しつつ、必要な機械設備の改修を行うもので、引き続き計画的で効率的な改修工事が必要となる。

**【主な特定財源】**

- 府補 未来づくり交付金（IJICレギ`-セタ-設備改修事業） 3,400千円
- 市債 IJICレギ`-セタ-整備事業債（未来づくり資金） 12,200千円

事業所管課	農林水産環境部／環境バイオマス推進課
-------	--------------------

平成22年度 京丹後市行政評価委員会 施策評価結果（案）

施策名	新しいエネルギーの導入と活用	担当部局 農林水産環境部
評価結果	<p>1 施策目的について</p> <p>2 施策の達成度について</p> <p>3 事業構成の有効性について</p> <p>4 今後の施策展開について</p> <p>(1) 「省エネ・グリーン化推進事業」で、公共施設に太陽光発電設備を設置する計画であるが、市民レベルでも太陽光などの発電設備を一層設置しやすいよう、他市の状況も参考にして事業展開すべきである。</p> <p>(2) エコエネルギーセンターの管理運営に年間約2,000万円を投入している。毎年多額の経費を要する当施設について、その設置意義や市にどのような展望や利益をもたらすのか明確にしながら管理運営を図っていくべきである。</p> <p>(3) 新しいエネルギーの導入と活用に向け、新しいことにトライすることは大事である。その際に、採算を取ることを重視すべきであるが、採算が取れないから実施しないということではなく、環境学習や観光の面をプラスし、併せて将来の構想を踏まえ、費用対効果を判断し、施策展開を図っていくべきである。</p>	